

## 大学院看護学研究科教育課程及び履修方法に関する規程

(準拠)

第1条 本規定は、人間環境大学大学院学則第28条2項に基づき、教育課程及び履修方法について定める。

2 本学大学院の教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）によって行うものとする。

(授業科目の区分)

第2条 授業科目は、学則第28条に基づき、以下の科目に区分する

- (1) 演習及び実習科目
- (2) 講義科目

(修了単位)

第3条 本学博士前期課程及び博士後期課程を修了するためには、前条に定める(1)、(2)の科目群から必要単位数を含め、博士前期課程は30単位以上、博士後期課程は14単位以上を修得しなければならない。博士前期課程、博士後期課程の教育課程等の概要については、別表1)、別表2)に定める。

第4条 教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期に授業及び研究指導を行うことができる。

(教育課程及び履修方法)

第5条 授業科目及び単位数並びに履修方法は次に示す。

### 博士前期課程履修単位

1. 共通必修科目	4単位
看護学研究法特論M	(内訳：2単位)
疫学統計学M I	(内訳：2単位)
2. 共通選択科目	8単位
3. 自己専門領域必修科目（地域看護学領域のみ15単位）	14単位
4. その他（自己専門領域以外の他領域の特論M 4単位を含むこと）	4単位以上
修了に必要な単位	30単位以上

### 博士後期課程履修単位

1. 共通必修科目	4単位
看護学研究法特論D	(内訳：2単位)
疫学応用統計学D	(内訳：2単位)
2. 自己専門領域必修科目	10単位
修了に必要な単位数	14単位以上

2 研究指導の内容については、専攻において定める。

(履修すべき科目の登録)

第6条 学生は、履修する各自の研究分野を定めて、その目的に適するよう指導教員の指示に

より、授業科目を履修するものとする。

- 2 学生は、毎学期の当初に、当該学期において履修すべき授業科目を登録しなければならない。

(他の大学院等における授業科目の履修等)

第7条 人間環境大学学則第34条に基づき、本学大学院が教育上有益と認めるときは、他の大学院又は研究所等との協議に基づき、本学の大学院生に他大学大学院の科目を履修することを許可する。このようにして修得した単位を、10単位を超えない範囲で本学大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、大学院生が休学することなく、外国の大学院に留学した場合に準用する。

(入学前の既修得単位等の認定)

第8条 人間環境大学学則第35条に基づき、本学大学院が教育上有益と認めるときは、大学院生が、入学する前に他の大学院において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）について、10単位を超えない範囲で本学大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、外国の大学、短期大学を卒業又は中途退学し、本学に入学を許可された者について準用する。

- 3 単位認定する科目は研究科委員会で決定する。

(単位の認定)

第9条 各授業科目の履修を修了した者には、認定のうえ単位を与える。

- 2 単位の認定方法は、試験、論文その他の方法によるものとし、その方法については、各授業科目の担当者が定める。

(授業の運営)

第10条 大学院学則に基づき、看護学研究科特別研究等の授業の運営及び実施に関する詳細は別途定める。

(授業科目の評価)

第11条 授業科目の成績は、秀 (S)、優 (A)、良 (B)、可 (C)、不可 (D) をもって表し、可以上を合格とする。

- 2 成績と評価基準は、次の通りとする。

100～90点 秀 (S)、89～80点 優 (A)、79～70点 良 (B)、69～60点 可 (C)、59～0点 不可 (D)

- 3 評価基準の詳細は別途定める。

(課程の修了要件)

第12条 博士前期課程を修了するためには、当該課程に2年以上在学し、本学大学院看護学所定の授業科目を30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士の学位論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。その概要は別表1)、に定める。

2 博士後期課程を修了するためには、当該課程に3年以上在学し、本学大学院看護学研究所定の科目14単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。その概要は別表2)、に定める。

3 長期履修生等については、学位取得までのプロセスは博士前期課程については前述1項に、博士後期課程については2項に準用する。

(学位の授与)

第13条 博士前期課程を修了した者に修士(看護学)の学位を授与し、博士後期課程を修了した者に博士(看護学)の学位を授与する。

2 修士及び博士の学位の授与については、別途定める。

(学位論文、最終試験)

第14条 学位論文及び最終試験の合格又は不合格は、研究科委員会において審査決定する。

2 審査決定の方法は、別途定める。

(規程の改廃)

第15条 この規程の改廃は、研究科委員会の議を経て、学長が決定する。

附則 この規程は、平成27年4月1日から施行する。

別表1)

看護学研究科看護学専攻 博士前期課程

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	審査		
共通科目	A	看護学研究法特論M	1前	2			○		オムニバス	
		疫学統計学M I	1前	2			○		オムニバス	
		疫学統計学M II	1後	2			○		オムニバス・共同 (一部)	
		看護理論特論M	1前	2			○			
		看護教育特論M共通	1後	2			○			
		看護倫理特論M	1前	2			○		オムニバス	
		看護管理特論M	1後	2			○			
		看護政策特論M	1後	2			○			
		国際保健看護学特論M共通	1後	2			○		オムニバス・共同 (一部)	
	B	フィジカルアセスメント特論M	1前	2			○		オムニバス	
		臨床薬理学特論M	1前	2			○		オムニバス	
病態生理学特論M		1前	2			○		オムニバス		
	小計 (12科目)		4	20	0		-			
看護教育管理学分野	看護教育学領域	看護教育学特論M	1前	2			○		オムニバス・共同 (一部)	
		看護教育学演習M	1後	2			○		オムニバス・共同 (一部)	
		看護教育学演習M II	1後	2			○		※実習・共同	
	看護保健管理学分野	看護保健管理特論M	1前	2			○			
		看護保健管理演習M	1後	2			○			
		看護保健管理演習M II	1後	2			○		※実習	
	特別研究M	看護教育管理学特別研究M I	1通	4			○			
		看護教育管理学特別研究M II	2通	4			○			
		小計 (8科目)		0	20	0		-		
	発達看護学分野	小児看護学領域	小児看護学特論M	1前	2			○		オムニバス
			小児看護学演習M	1後	2			○		共同
小児看護学演習M II			1後	2			○		※実習オムニバス・共同 (一部)	
リプロダクティブヘルス看護学領域		リプロダクティブヘルス看護学特論M	1前	2			○		オムニバス	
		リプロダクティブヘルス看護学演習M	1後	2			○		オムニバス・共同 (一部)	
		リプロダクティブヘルス看護学演習M II	1後	2			○		※実習オムニバス・共同 (一部)	
特別研究M		発達看護学特別研究M I	1通	4			○			
	発達看護学特別研究M II	2通	4			○				
	小計 (8科目)		0	20	0		-			
成人・高齢者看護学分野	クリティカル看護学領域	クリティカルケア看護学特論M	1前	2			○			
		クリティカルケア看護学演習M	1後	2			○		オムニバス	
		クリティカルケア看護学演習M II	1後	2			○		※実習	
	エンド・オブ・ライフケア看護学領域	エンド・オブ・ライフケア看護学特論M	1前	2			○		オムニバス・共同 (一部)	
		エンド・オブ・ライフケア看護学演習M	1後	2			○		オムニバス・共同 (一部)	
		エンド・オブ・ライフケア看護学演習M II	1後	2			○		※実習オムニバス・共同 (一部)	
	高齢者看護学領域	高齢者看護学特論M	1前	2			○		オムニバス・共同 (一部)	
		高齢者看護学演習M	1後	2			○		オムニバス	
		高齢者看護学演習M II	1後	2			○		※実習オムニバス・共同 (一部)	
	特別研究M	成人・高齢者看護学特別研究M I	1通	4			○			
		成人・高齢者看護学特別研究M II	2通	4			○			
	小計 (11科目)		0	26	0		-			
広域看護学分野	在宅看護学領域	在宅看護学特論M	1前	2			○		オムニバス・共同 (一部)	
		在宅看護学演習M	1後	2			○		オムニバス・共同 (一部)	
		在宅看護学演習M II	1後	2			○		※実習オムニバス・共同 (一部)	
	地域看護学領域	地域看護学特論M	1前	2			○		オムニバス	
		地域看護学演習M	1後	2			○		オムニバス・共同 (一部)	
		地域看護学演習M II	1後	2			○		※実習・共同	
	国際保健看護学領域	地域看護学管理特論M	1後	1			○		オムニバス	
		国際保健看護学特論M	1前	2			○		オムニバス・共同 (一部)	
		国際保健看護学演習M	1後	2			○		オムニバス・共同 (一部)	
	精神看護学領域	国際保健看護学演習M II	1後	2			○		※実習	
		精神看護学特論M	1前	2			○		オムニバス	
		精神看護学演習M	1後	2			○			
	特別研究M	精神看護学演習M II	1後	2			○		※実習	
広域看護学特別研究M I		1通	4			○				
	広域看護学特別研究M II	2通	4			○				
	小計 (13科目)		0	33	0		-			
合計 (54科目)				4	119	0		-		
学位又は称号 修士 (看護学)			学位又は学科の分野							
修了要件及び履修方法										
前期課程修了要件										
以下の要件を満たして30単位以上を修得し、かつ、修士論文の審査に合格すること。										
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 共通科目から看護学研究法特論M、疫学統計学M Iを必修とし、各2単位修得のこと。</li> <li>• 自己専門領域から特論M、演習M・演習M II、特別研究M I・IIは必修として14単位履修。</li> <li>• 自己専門領域以外のすべての専門領域から特論Mのみ4単位以上履修。</li> <li>• 学生の希望により、学部の講義科目のうち10単位までは自由選択制 (「看護管理学」、「組織とリーダーシップ論」、「終末期看護学」、「地域看護・公衆衛生看護学概論」、「国際看護学 I」、「国際看護学 II」、「国際看護学 III」、「国際看護学 IV」、「家族看護論」、「看護教育論」、「災害看護学」)。これらの科目は修得単位として認定される。しかし、博士前期課程の修了要件の科目としては認めない。</li> </ul>										
1学年の学期区分			2学期							
1学期の授業期間			15週							
1時限の授業時間			90分							

別表2)

看護学研究科看護学専攻 博士後期課程

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	演習		
共通科目	看護学研究特論D	1前	2			○			オムニバス・共同 (一部)	
	疫学応用統計学D	1前	2			○			オムニバス	
	小計 (2科目)		4	0	0			-		
看護教育管理学分野	看護教育学領域	看護教育学特論D	1前	2			○		オムニバス・共同 (一部)	
	看護教育学演習D	1通	2				○		オムニバス・共同 (一部)	
	看護保健管理学分野	看護保健管理学分野	看護保健管理学分野特論D	1前	2			○		
		看護保健管理学分野	看護保健管理学分野演習D	1通	2				○	
	特別研究D	看護教育管理学分野特別研究D I	1通	2				○		
		看護教育管理学分野特別研究D II	2通	2					○	
		看護教育管理学分野特別研究D III	3通	2						○
	小計 (7科目)		0	14	0			-		
	発達看護学分野	小児看護学領域	小児看護学特論D	1前	2			○		オムニバス・共同 (一部)
		小児看護学演習D	1通	2				○		オムニバス・共同 (一部)
		リプロダクティブヘルス看護学領域	リプロダクティブヘルス看護学特論D	1前	2			○		オムニバス
リプロダクティブヘルス看護学演習D			1通	2				○		オムニバス
特別研究D		発達看護学特別研究D I	1通	2				○		
		発達看護学特別研究D II	2通	2					○	
		発達看護学特別研究D III	3通	2						○
小計 (7科目)		0	14	0			-			
成人・高齢者看護学分野	クリティカルケア看護学領域	クリティカルケア看護学特論D	1前	2			○			
	クリティカルケア看護学演習D	1通	2				○			
	エンド・オブ・ライフケア看護学領域	エンド・オブ・ライフケア看護学特論D	1前	2			○		オムニバス・共同 (一部)	
		エンド・オブ・ライフケア看護学演習D	1通	2				○		オムニバス・共同 (一部)
	高齢者看護学領域	高齢者看護学特論D	1前	2			○		オムニバス	
		高齢者看護学演習D	1通	2				○		オムニバス・共同 (一部)
	特別研究D	成人・高齢者看護学特別研究D I	1通	2				○		
		成人・高齢者看護学特別研究D II	2通	2					○	
		成人・高齢者看護学特別研究D III	3通	2						○
小計 (9科目)		0	18	0			-			
広域看護学分野	在宅看護学領域	在宅看護学特論D	1前	2			○		オムニバス・共同 (一部)	
	在宅看護学演習D	1通	2				○		オムニバス・共同 (一部)	
	地域看護学領域	地域看護学特論D	1前	2			○		オムニバス・共同 (一部)	
		地域看護学演習D	1通	2				○		オムニバス・共同 (一部)
	国際保健看護学領域	国際保健看護学特論D	1前	2			○		オムニバス・共同 (一部)	
		国際保健看護学演習D	1通	2				○		オムニバス・共同 (一部)
	精神看護学領域	精神看護学特論D	1前	2			○			
		精神看護学演習D	1通	2				○		
	特別研究D	広域看護学特別研究D I	1通	2				○		
		広域看護学特別研究D II	2通	2					○	
		広域看護学特別研究D III	3通	2						○
小計 (11科目)		0	22	0			-			
合計 (36科目)		4	68	0			-			
学位又は称号 博士 (看護学)			学位又は学科の分野							
修了要件及び履修方法										
博士後期課程修了要件 1. 共通科目の看護学研究特論、疫学応用統計学は、各2単位で4単位修得すること。 2. 各専攻分野必修科目、特論D、演習Dは各2単位で4単位修得し、特別研究I～Ⅲの6単位を修得すること。 3. 修了時に必要な単位数は、14単位以上 4. 以上の要件から14単位以上修得し、かつ、論文審査を提出し、合格すること。 5. 博士後期課程入学者で修士課程を履修しなかった特論科目を10単位まで自由選択制で履修できる。 しかし、博士後期課程の修了要件の科目としては認めない。										
						1学年の学期区分			2学期	
						1学期の授業期間			15週	
						1時限の授業時間			90分	